



NO.3 1

はな ^がつ ^がつ ^がつころ ^あか ^み
花は3月から4月、6月頃に赤い実が
なります。この実 ^みは ^あま ^す甘酸っぱく、その
ま ^たま ^かじ ^つし ^ゆ食べたり、ジャムや果実酒などに
か ^こう ^う加工されることもあります。「モモ」の
な ^まえ ^もも ^べつ ^つ
名前がついていますが、桃とは別の
し ^よく ^ぶつ ^つ
植物です。

ヤマモモ

NO.32



は ^{うつく}美しく、^{じゆけい}樹形がきれいなため

に ^{わき}庭木や ^{ていえん}庭園などによく ^う植えられます。

モチノキやマツとならんで「江戸五木」

(江戸時代に江戸で重視された造園

^{ほく}木)と ^い言われています。7月頃になる

と2センチメートルほどの ^{はな}花をつけ、

^{あき}秋になると ^{あか}赤い ^み実をつけます。

モッコク

NO.33



らくようせい ていぼく こうえん にわき はばひろ
落葉性の低木で公園や庭木などに幅広

りよう
く利用されています。春に白いつぼ型

はな えだ た さ
の花が枝から垂れ下がるようにたくさ

さ
ん咲きます。秋には紅葉がとてもきれ

いす。この植物の名前は「灯台」か

らきているそうですが、きゅうちゅうぎょうじ
宮中行事で

つか
使われた「結び灯台」に似ているから

だそうです。

ドウダントンツツジ



NO.34

葉は長い楕円形で、両端がとがっています。葉がタケに似ていて、花がモモに似ていることから、この名がついたそうです。乾燥や大気汚染に強く、街路樹などによく使われます。毒性があるため枝を調理に使ったり、家畜が食べないように注意する必要があります。

キョウチクトウ



NO.35

かいかじき なつ
開花時期は夏ですが、めったに咲く姿
み
は見られません。ふとなが ち かけい
は太く長い地下茎をめぐらして、ちちゅう
地中からタケノコを生やします。ほ
掘りたてのタケノコは、さしみ
しにても食べられます。た ゆみ じょうぎ せんす
弓、定規、扇子、
さどうぐ さまざま りよう
茶道具など様々なものに利用されています。

マダケ



NO.36

は おお どくとく
葉は大きく、独特なおいがあるため、
この名前がついています。花は白く、
がくは、はじめみどりいろでしだいにあか
なり、あま かお
甘い香りがあります。ひるま
昼間はアゲ
ハチョウ科の大型のチョウ、ひ く
日が暮れ
るとスズメガ科の大型のガが、よくき
ます。

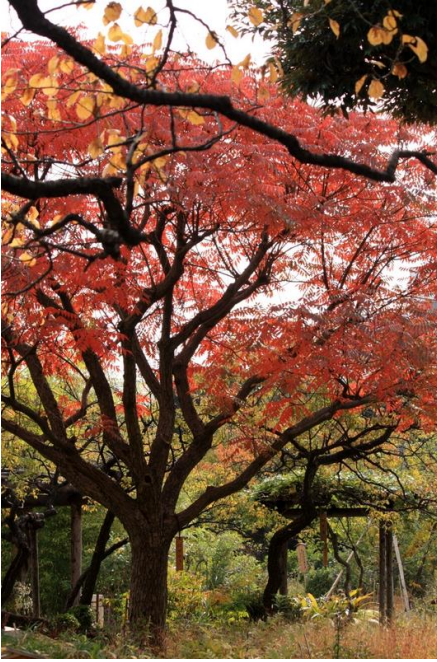
クサギ



NO.37

5^{がつ}月の^お終わりから6^{がつ}月にかけて^{しろ}白い^{はな}花
が^さ咲き、^{あき}秋には^{いろ}オレンジ^み色の^み実が^{なり}なり
ます。^{じゆく}熟した^み実は^{しょくよう}食用になり、^{みき}幹は
^{かくざい}家具材、^は葉は^{ちゃ}お茶^かの^の代わりに^の飲まれる
ことがあります。^{あま}甘くて^{おいしい}おいしいもの
と、^{しぶ}渋い^{もの}ものがあります。^{しぶ}この^{しぶ}渋いには
^{ぼうふざい}防腐剤や^{ぼうすいざい}防水剤^{のは}の^はたらき^ががあります。

カキ



NO.38

この木の実は、ろうそくや石けん、クレヨンなどの材料として使われます。そのためロウノキと呼ばれることもあります。美しく紅葉することから、秋の季語になっています。ウルシほど強くありませんがかぶれることがあるので注意が必要です。

ハゼノキ



NO.39

にわき がいろじゅ う
庭木や街路樹などによく植えられてい
ます。木は硬くみがくとつやがでるた
め、高級なくしや将棋の駒の材料、
はんぎ つか き
版木などによく使われます。木はあま
り大きくなりません。はな がつ
月頃に咲き、たくさんのおしべの中に
みどりいろ め た
緑色の目立たないめしべがあります。

ツゲ



NO.40

オーストラリア^{など}等に分布し、種類^{しゅるい}は500以上もあります。成長^{せいちょう}がとてもはやく、70^{メートル} M を超える高さになるものもあるそうです。コアラが食べる^たこと^{ゆうめい}で有名ですが、コアラは限^{かぎ}られたユーカリの新芽^{しんめ}しか食べない^たそうで、たいへんなグルメなのだそうです。

ユーカリ